

No.21 ハンドボール

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高等
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合番号 **鹿本-女44**

年月日 **2019年8月7日(水)**
 大会名 **令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会**

公式記録用紙

A	県立華陵高等学校										白梅学園高等学校										B		
熊本市		山鹿市				山鹿市鹿本体育館						準々決勝											
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m70-7m75	A	B									
7m得点/総数	A		チームタイムアウト									B		7m得点/総数									
	2/2		1	2 後半	3							1	2 後半	3	2/2								
			2854	1002	1357								2005										
No.	県立華陵高等学校					G	W	2'	2'	D	DR	No.	白梅学園高等学校					G	W	2'	2'	D	DR
1	井上 鈴菜											1	木村 百花										
2 C	川崎 真優					4						2 C	高橋 弥那					2	1				
3	田中 乃愛					2						3	平野 早姫					2		1			
5	前岡 咲良					2						4	小宮山 果歩					6	1				
6	弘中 萌央											5	大谷 彩乃					7	1				
7	松浦 未南					6		1				6	布施 蓮					1					
8	三浦 えみか					3						7	伊藤 結衣					5					
9	佐伯 真花											8	青木 里奈					1					
10	小益 萌百花							1				9	篠崎 来美										
11	小林 莉菜子											10	小山 愛莉										
12	石川 千紘											11	佐藤 蘭										
15	三宅 理乃											12	上石 奈津子										
16	村川 優花											13	叶谷 紅名										
20	菅 光											14	細谷 琳花										
役員A	東 慶一											役員A	須川 文敬										
役員B	國弘 崇志											役員B	榎本 満里奈										
役員C	吉国 多映											役員C	田中 久樹										
役員D												役員D											

A **東 慶一** チーム役員A署名 **須川 文敬** B

レフェリー	米村 宏之	樋口 聯	米村 宏之	樋口 聯
TD	西浦 伸一	宮田 政克	西浦 伸一	宮田 政克
MO	鶴田 祐一郎		鶴田 祐一郎	

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

戦評

開催日	2019年 8月 7日 水曜
会場	山鹿市鹿本体育館
種別	女子
回戦	準々決勝

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		華陵	17	9-10 後半 8-14	24
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>華陵のスローオフで試合開始。白梅学園は4-2ディフェンスで、華陵の川崎が落ち着いてポストシュートを決めて先制する。華陵の6-0ディフェンスに対して、白梅学園はGKを下げて7人攻撃を仕掛ける。10分過ぎに華陵の前岡の速攻が決まり、3対1とリードする。7人攻撃に対して、華陵は5-1ディフェンスにシステムチェンジする。長身の2人のトップがうまくラインコントロールする白梅学園を、華陵もスペースが突かず、ピボットプレイヤーにもパスが通らない時間帯が続く。17分過ぎ、白梅学園の大谷がポストシュートを決めて、6対5と逆転に成功する。18分過ぎに白梅学園に退場者が出て、華陵の田中が7mTを決め同点となる。川崎の速攻、松浦のミドルシュートで、華陵は一気に逆転に成功。残り2分で、白梅学園の大谷が4得点目の速攻を決め、9対9の同点となる。さらに小宮山がミドルシュートで1点加え、白梅学園が10対9の1点リードで折り返す。</p>
後半	
<p>白梅学園のスローオフで後半開始。白梅学園の高橋のミドルシュート、フリースローからのコンビプレーで2点を加え12対9とリードを広げる。白梅学園は巧みなコンビネーションプレーで加点し、8分を過ぎて15対11となる。華陵も6-0ディフェンスにして粘るが、10分過ぎにタイムアウトを申請する。ダブルポストにして、前岡のサイドシュートで1点を返した華陵だが、退場者が出る間に、伊藤の7mTと大谷のサイドシュートが連続して決まり、白梅学園が20対12と一気にリードを広げる。中盤で最後のタイムアウトを申請した華陵は、3-3ディフェンスにして勝負に出る。華陵の松浦が3連続ゴールを奪い21対15と必死に追い上げる。20分過ぎに、白梅学園はタイムアウトを申請し、直後に6-0ディフェンスに戻した華陵から、小宮山がミドルシュートを決める。残り5分を切って、白梅学園が23対16とリードを保つ。華陵はピボットプレイヤーがスクリーンに出るが、白梅学園ディフェンスはうまく連携して許さなかった。白梅学園がチームカラーを発揮し、24対17で勝利し準決勝進出を果たした。</p>	